

トライアルチームの成果報告(つづき)

プロジェクト 松山駅前よるまちプロジェクト

チーム：よるまち

【トライアル内容】寄って楽しい駅前空間づくり

○松山駅前広場で人のにぎわいを創出するため、音楽イベントやライトアップ、掲示板等を平成30年12月14日(金)18時から20時に実施

<今年度のトライアルを振り返って>

- 松山駅で初めての音楽イベントができた。駅の利用者など、思ったよりも人に集まってもらった。
- 継続的にイベントを行いたい。
- 新しい駅前広場は、にぎわいイベントを行うために、雨天時にも利用できる形態にしてほしい。
- 今後、自分たちも関わって、まちをつくっていききたい。



上：音楽イベント
右：ライトアップ



プロジェクト JR松山駅周辺のMAPづくり

チーム：エキカツ!

【トライアル内容】徒歩10分以内の飲食店の紹介マップづくり

- 若者をターゲットにした松山駅の魅力が伝わるマップを作成
- メンバーでまち歩きや駅利用者へのアンケートにより、マップのお店の選択やターゲットを設定

<今年度のトライアルを振り返って>

- 取材を通して松山駅周辺のお店に暖かい方がたくさんいることが分かった。
- 自分たちも松山駅周辺のお店を知ることができ、松山駅的印象が変わった。
- 駅の待ち時間の新たな使い方を生み出した。
- 取材をしてみて多くの人の協力が不可欠だと感じた。



上：大学生によるお店の取材
右：冊子型のマップ(表紙)



松山駅周辺の景観イメージを作成しました!

勉強会で意見をいただき、松山駅周辺における3つの視点における「まちの顔」を表現した景観イメージを作成しました。これらは、今年度松山市で作成した、松山駅周辺の景観づくりの手引きである「松山駅周辺・大手町通り 景観づくりのポイント」にも掲載し、景観づくりに生かしていきます。



駅前広場と通りの見渡し景観
全体の景観としての「まちの顔」をつくる



業務ビルがならぶストリート
のまちなみ通りを歩く人の視点での「まちの顔」をつくる



お店等のデザイン・使い方
まちなぎわいによる「まちの顔」をつくる

お問い合わせ

松山市都市整備部松山駅周辺整備課(まちづくり担当)

〒790-8571 松山市二番町四丁目7番地2 松山市役所本館7階
TEL.(089)948-6467 FAX.(089)934-1807
E-mail matsuyamaeki@city.matsuyama.ehime.jp

[松山駅周辺まちづくりに関する土地利用勉強会]

ほしい未来は自分でつくる。

松山駅周辺フューチャーデザイン2018

発行：松山市都市整備部 松山駅周辺整備課

NEWS かわら版 vol.5(2019/03)

topics

- トライアルチームの成果を発表しました!
- 今年度のとりまとめとして、総括フォーラムを開催しました!

トライアルチームによって行われた取り組みとその成果について発表しました!

第5回 開催報告 分かち合おう! / トライアル発表会~これからを語り合う

2019年1月16日(水)、第5回ワークショップを開催し、23名の方々に参加いただきました。

今回は、4つのトライアルチームで取組んだアクション・トライアルの具体的な内容や成果について発表を行いました。

なお、トライアルチームでの取組みについては、1月27日(日)に実施した総括フォーラムでも発表し、勉強会メンバー以外の市民の皆さんにも広く知っていただく機会をもちました。



プロジェクト 駅前に必要なものを探す旅

チーム：駅研究部

【トライアル内容】色々な駅についての調査・研究

- 松山駅の利便性を向上させるために、様々な駅前の建築物や広場の良いところについて調査研究
- 今後の検討の参考になるよう、調査研究した内容を「駅研究新聞」としてまとめるとともに、松山市やJR四国に対して提案

<今年度のトライアルを振り返って>

- 調べたことを写真等で視覚に訴えたり、データを元に比較できて良かった。
- 今の松山駅の現状分析や他の駅についての詳細な調査をしても良かった。
- テーマを絞った第2号やJR四国と連携した新聞を作りたい。

多くの人が回遊し楽しめる駅前広場へ
~新たに整備された短絡駅の魅力~



駅研究新聞

プロジェクト 知らない角を曲がればそこは旅だ...

チーム：たびびと

【トライアル内容】駅前周辺のとがったスポット(お店)を載せたマップづくり

- 松山駅周辺にある「とがった」お店やスポットを掲載したマップを作成
- お店へのインタビューなど、まち歩きをして掲載内容を収集

<今年度のトライアルを振り返って>

- 駅周辺を客観的に見ることができ、再発見があった。
- まちが変わることを早く発信し、話題にすることも大事。
- 作成したマップをお客さんに来てほしいお店の情報発信に使ってもらうなど、色々な情報発信の方法も試していきたい。



上：作成したマップ
右：まち歩きの様子

松山駅周辺のまちづくりの状況などをお伝えする総括フォーラムを開催しました！

2019年1月27日（日）に、今年度の取りまとめの場として、総括フォーラム「松山駅周辺のまちづくりについて皆さんの疑問にお答えします」を開催し、65名の方々に参加いただきました。

事前に募集した松山駅周辺で進むまちづくりに対する質問にお答えするなど、松山駅周辺のまちづくりの状況について説明しました。

また、後半では、4つのトライアルチームの代表者の皆さんに今年度の取り組みをもとに、今後の松山駅周辺のまちづくりに期待することなどをお話いただきました。



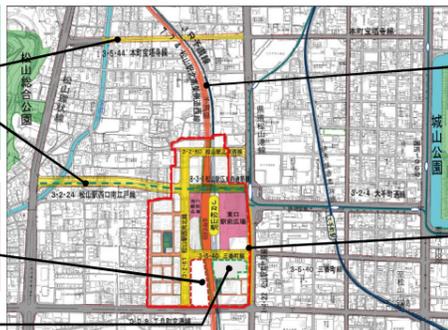
■松山駅周辺のまちづくりの動き

街路事業 (県・市)

- 本町宝塔寺線 (2車線：幅員 20m)
- 松山駅西口南江戸線 (4車線：幅員 34m)
- 路面電車延伸 (予定)

車両基地跡地利用 (市)

- 「新たな顔となる情報文化交流拠点」整備事業
- 貨物駅跡地：愛媛県が取得予定



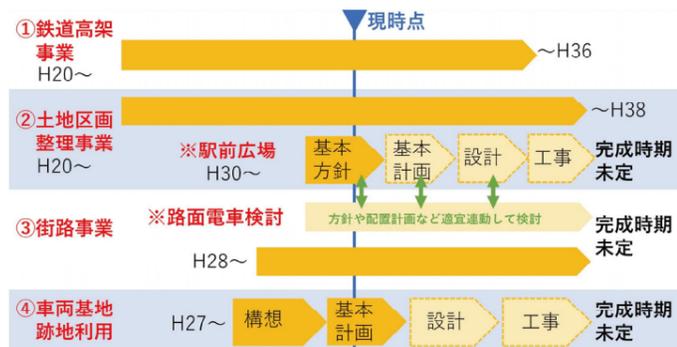
鉄道高架事業 (県)

- JR 松山駅付近連続立体交差事業 (約 2.4km)

土地区画整理事業 (市)

- 松山駅周辺土地区画整理事業 (16.7ha)
- 駅前広場整備
- 東側：約 10,000㎡ → 15,500㎡ に再整備
- 西側：約 3,400㎡ の広場新設

■松山駅周辺のまちづくりのスケジュール (2019.1時点)



？ 駅前広場や駅舎はどうなりますか？

駅前広場は、現在の東側を再整備し、西側にも新設予定です。現在、バスの台数などの条件整理をしているところですが、イベントを行ったりして、にぎわいを生む広場空間も考えていければと思っています。駅周辺で居心地よく過ごしていただけるようなものになりたいと考えています。

駅舎については、JRからは「2階にホーム、1階に切符売場や改札を設置予定。にぎわいづくりに貢献できる施設にしたい」とお聞きしています。

駅舎のデザインは「地元で愛され親しまれる駅づくり」を目指してJRが検討されます。松山市としても「陸の玄関口にふさわしい駅」にしていけるようJRと連携していきます。

高架下についても、JRと連携しながらにぎわいを生む施設にしていければと考えています。

？ 松山駅周辺には何ができるのですか？

松山駅周辺の鉄道高架事業、土地区画整理事業に伴う駅前広場整備、路面電車の電停移設、街路事業とあわせた路面電車延伸などが予定されています。また、車両基地跡地については、「情報文化交流拠点」整備の計画づくりを進めています。鉄道高架事業と土地区画整理事業は、概ね10年以内に完成予定です。

？ 電停移設で乗換は便利になりますか？

現在の場所から、松山駅寄りに移設予定ですので、平面での乗換が可能になります。また、大手町方面との横断方法については、平面での横断歩道や歩道橋設置などを今後検討していきます。いずれにしてもバリアフリー面に考慮して横断していただけるようにしていきます。なお、地下道については、地下街にする予定はありません。

？ 松山駅周辺は賑やかになりますか？

松山駅は多くの人利用する施設です。現在も飲食店や宿泊施設など良いところがあります。また、新たな情報文化交流施設を計画しています。こうした松山駅周辺の良さを生かし、人が集まり、にぎわいがあり、訪れた人が居心地よく過ごせる場所にしていければと考えています。

総括フォーラム | スパイラルトーク / トライアルを振り返り、松山駅周辺のまちづくりについて意見交換

各トライアルチームを代表して、藤村幸代さん（駅研究部）、川崎佳代子さん（たびびと）、泉一郎さん（よるまち）、藤原優奈さん・山本紗乃さん（エキカツ！）に登壇いただき、尾崎信さん（松山アーバンデザインセンター・ディレクター）と各チームの取り組みを実施してみて分かったことや気づいたこと、今後の松山駅周辺のまちづくりへの展望や期待などをお話いただきました。



トライアルチームの取り組みを受けての感想

- 今回の取り組みは、その対象を「まち」「駅前広場」「駅舎」に分けられると思います。
- 駅周辺の「まち」を対象に取組んだマップをつくった2チームでは、どういった発見がありましたか？



尾崎さん

- 駅研究部では、ライティングがすごく重要と発表されていました。
- 「駅舎」も含めてどういう駅を目指したら良いと思いますか。



藤原さん

- 高校時代からJRを利用していましたが、若者が行くようなところがあると思っていませんでした。マップづくりを通して、若者が好む、写真映えるオシャレなお店もあることを知り、友達と行きたいお店も増えました。



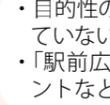
川崎さん

- 地元について知らなかったのは自分自身だと気がきました。地元の自分たちが地域をしっかりと見て、自信を持つことが大事だと分かりました。
- マップについては、リクエストがあれば、取材をして更新していきたいです。



泉さん

- この地域で長年商売していますが、地元のことを意外と知らないということが分かりました。マップチームが紹介されたお店へ実際に行ったり、自分のところのお客さんに今回のマップをお渡しして紹介したいと思っています。



藤原さん

- 目的性のあるお店などはあるけれど知られていない。情報発信が重要ですね。
- 「駅前広場」の視点で、整備時の重要ポイントなど気づいたことはありましたか？



泉さん

- イベント実施には電源が必要です。また、当日は天候も心配でしたので、天候に左右されず実施できるような広場を検討してもらいたいと思いました。



藤原さん

- 地元でお店をしていますが、よるまちのイベントでは、ライブや明かりが良い雰囲気をつくって良かったです。また、イベントに沢山の人が来られているのを見て、心が震えるくらい感動しました。

- 駅研究部では、JRさんに「昼だけでなくライティングなど夜の景観も重視してほしい。」とお伝えしました。
- 他にも、「松山の個性を出してまた訪れたいくなる駅を」ということで、例えば、砥部焼などを壁面に用いるなども一つのアイデアとして提案しました。

松山駅の将来に向けての期待

- 今回の取り組みを通して、大学生や地元の皆さんの視点から、将来の松山駅に向けてどんな考えを持たれましたか？



山本さん

- にぎわいがあり、地元の人たちが行きたくなる、電車利用以外にも人が集まるような駅になったら良いと思います。JR周辺の良いところを知ってもらい、大街道のアエル前のような、待ち合わせできる場所になればと思います。



川崎さん

- 駅舎については、例えば、道後温泉とのデザイン性の統一など、「外から来られた方をお迎えする空間」としてのデザインを考えてもらいたいです。



藤原さん

- 今回の各チームの取り組みを通して、さらに駅前が好きになりました。関心のある方にはぜひ協力していただき、アイデアを出してもらいたいです。
- より良い駅周辺に向けて、もっと他の駅も見ながら提案していけたらと思います。



泉さん

- 資金がなくても知恵や情報を出し合うことでイベントができました。継続できる手段や仕組みづくりが課題だということも分かりました。
- 今回のようなにぎわいづくりを継続させるためには、地元の人たちが協力して積極的な参加が必要だと思います。

今年度の取り組みを振り返って | コーディネーター・尾崎信さんのまとめ



- 今回の取り組みを次のステップにつなぐことが重要
- 2つのマップ制作チームにより、駅周辺には面白い場所やおいしいお店がたくさんあると分かった。
- これらのマップを配布し、改善しながら、駅周辺の情報発信につながるとよい。
- よるまちチームの取り組みから駅前広場を使っているイベントが可能だということが分かった。
- こうした活動を継続させていくためには、チームづくりやお金のマネジメントが重要。

- 駅周辺の「松山らしさ」をどうつくっていくか
- 他の駅の事例研究などを踏まえ、駅舎などどう「松山らしさ」を出していくか。また、駅前広場の活動を受け止められることも大切。
- 「駅前としての機能」と「松山らしさ」、「市民の活動によるにぎわい」。これらの3つのバランスが取れた駅周辺になっていくことが望ましい。
- 今回の各チームの取り組みが3つの視点につながるきっかけになっていくことが期待される。